

様式第1号（第3条第1項、第3項関係）

注意：住所と生年月日を除き公表することとなりますので、ご了承ください。

（表）

農業委員会の委員 推薦・応募書

弘前市長 様

令和6年〇月〇〇日

※推薦のみ、 推薦を する者 右欄の どちらか に記入	個人による推薦	ふりがな氏名	ほか別紙のとおり
		住所	
		職業	
		年齢	満 歳（ 年 月 日生まれ）
		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	法人・団体による推薦	名称	
		目的	
		代表者又は 管理人の氏名	
		構成員の数	
		構成員たる資格	
		法人・団体の性 格を明らかにす る事項	
	推薦を受ける者 又は応募する者	ふりがな氏名	ひろさき ふじ 弘前 ふじ
		住所	弘前市大字上白銀町1-1
職業		農業	
年齢		満40歳（昭和〇〇年〇〇月〇〇日生まれ）	
性別		<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	
経歴		△△年△△月	藤代の農家に生まれる
		××年××月	弘前農林高校に入学（△△年卒）
		●●年●●月	弘前農園で研修（●●年間）
		▲▲年▲▲月	家族経営協定の締結
		◇◇年◇◇月	認定農業者に認定
地域活動（農業 関係団体や町会 等で地域へど よくなる活動 をしているか）		△△年△△月△△日	J A O O 女性部 料理教室での講師等として活動
		●●年●●月●●日	〇〇地区消防団 入団
		□□年□□月□□日	〇〇町会 入会
			会計として活動

(裏)

推薦を受ける者又は応募する者	農業経営の状況 (又は従事する事業等、その者と農業との関連についての説明) ※農業者でない場合は、市の農業の現状について、自身の考えを記載	水田 1. 4ヘクタール、減農薬栽培米、大豆 畑 0. 1ヘクタール、自家用野菜 樹園地 2. 5ヘクタール、無袋りんご7割と有袋3割 義父のもとで、夫と農業に専従 主に米を担当、直売施設やネットで販売 りんごは無袋や黄色りんごの導入により省力化 ※農業を営んでいる場合は、経営面積、作目、経営の特徴などを記載
	農業分野に関する資格の取得・研修等の受講	・JA〇〇農業後継者研修第〇期 (××年××月～△△年△△月) ・野菜ソムリエ取得(●●年●●月) ・りんご病害虫マスター(◇◇年◇◇月)
	委員活動の希望区域における農地・農業についての考え	私が耕作している地域は、農業従事者の高齢化が進んでおり、それに伴い農地が放棄され、耕作されていない農地が目立ってきました。耕作放棄地は、病害虫の発生源となり、周辺の農地にも甚大な被害を及ぼすことから、地域が一丸となって取り組む必要があると考えています。
	認定農業者の該当の別	<input checked="" type="checkbox"/> 認定農業者である <input type="checkbox"/> 否
推薦又は応募の理由	〇〇年間農業に従事してきました。その中で、自身の経営だけでなく、様々な人に農業を知ってもらうため、△△△や×××といった活動を行ってきました。町内会や消防団にも加入し、地域活動にも積極的に取り組んでいく中で、数多くの耕作放棄地を目にしてきました。耕作放棄地の増加は景観を損ねるだけでなく、周辺の農地にも悪影響を及ぼします。農業に従事するものとしてひとつでも多くの耕作放棄地を解消したいという思いがあり、これまでの経験を活かして、地域農業の活性化に役立ちたいと思い応募しました。	
委員としての抱負	新規で農業を始めたいという相談を受けますが、農地の確保が難しいために断念してしまう方が多いと感じます。担い手不足が深刻化していく中、限られた貴重な人材が活躍できる環境を整えることが必要と考えています。また、そのためには、病気や高齢により農業をリタイアする人などを上手く就農希望者と結びつける調整役が必要であり、委員として農業の発展のために尽力したいと思っています。	
委員活動の希望区域	兼平、五代	
推進委員への推薦又は応募	<input type="checkbox"/> 推進委員にも推薦又は応募する <input type="checkbox"/> 否 推薦又は応募を行う区域 ()	

■ 問い合わせ及び提出先

弘前市農林部農政課

電話 0172-40-0656